自分たちの手で作ろう！

ニューズ・レコードを設立

松山千春をメーンにしたNEWS（ニユーズ）レコード株式会社が三月三日に東京都港区麻布台二一三一五で設立、スタートしました。

社名のNEWSとは東西南北の頭文字からとつたもので、Nは北海道の千春、Eは千春のアレンジャーで川崎の清須邦義、Wは千春の先輩で誘い入れた滋賀の加川良の三人が専属歌手となります。

ニユーズ・レコードの才一弾は、五月五日に発売の千春のLP「浪漫」が予定されて、目下さかんにレコーディング中です。

◇　◇

このLPのA面は

一、ひとりじめ
二、雨の向うに
三、車を止めて
四、もう一度
五、もう止めた

B面は

一、残照
二、僕の好きな風景
三、風の詩
四、空ー翼を広げて
五、夢の中

となつています。なお、「風の詩」は四月からコマーシヤルに登場します。

◇　◇

千春はテレビが嫌いなのではなく、いつもいつしよに自分を支えてくれているスタッフと離れて自分ひとりがテレビ局へいくのが嫌で昨年暮の場合でも立てつづけに二本のテレビに出演しましたが、「松山千春大空と大地の中で」は、春いらいスタッフとともにつくつてきたドキユメンタリーで、いかに生のコンサートを大切にしているかを知つてもらいたかつたし、それにはがデビユーいらい千春と行動をともにしてきた仲間があつてこそーというところを訴えたかつたものです。

大みそ日の「たつたひとりのコンサート」にしてもカメラと放映はフジ・テレビでしたが、演出、構成、装置、音響、照明などは一切はいつものスタッフによつたものでした。

◇　◇

それを大きく一歩すすめたのがレコー会社の設立で　これまでのキヤニオン・レコードに不満があつたわけではなく、ツイスト、中島みゆき、研ナオコ、森昌子、岡田奈々、石野真子などの所属歌手と仲よくやつてきましたが、昨年いつぱいでキヤニオンとの契約切れだつたので各レコード会社から誘いもあつたものの、どうせ作るのなら自分たちの手でとなつたものです。

◇　◇

それに演歌もポピユラーもニユーミユージツもといつたレコード会社でなく、この新会社はコオーク一本でいこうと、加川、清須の両氏の参加を求めたように既成の会社ではやれないレコードを自分たちで作ろうとしています。

「松山千春・研究序説」

日本公論の三月号に松山千春・研究序説として「やさしさのカリスマ」と題する一文がつぎのように載つていました。

『本道の生んだスーパースター、足寄郡足寄町在住の松山千春とは何であるのか一介のカントリーボーイが全国津々浦々の少年少女、とりわけ娘どもをシビレさせるのは何なのか。全道のお父さん、あなたの娘が夢中になつている当代きつての歌手・松山千春について一緒に勉強してみましよう

彼の歌を聴いてみるのに格好の集体成は最新アルバム「起承転結」が適当だ。娘や息子にきいてみれば持つているかもしれない。このアルバムは彼のヒツト曲がAB両面合計十二曲が収められている。まずは、ひとわたり歌詞カードをながめ歌に耳を傾けよう。

ざつと聴いてみて、ある印象をもつたはずだ。まず声が細くテノールである。彼の発音にも特徴がある。彼の「イ行」音が数千人に一人いるかいないかの特異な音を発する。「イ行」音全般、つまりイ、キ、シ、チ、ニ、ヒ、ミ、リ、なかでも〃リ〃の発音がその違いが判り易い。すなわち、日本語ではリの音を「RI」と発音するのだが、彼は「LI」に近い舌をまきあげ、舌の両側から息を発する仕方で発音するのだ。

これら発声上の特徴をまず押えておきたい。

次に同LP中の歌の詞をみて、また印象がある。詞の中の立場が「男」の場合と「女」の場合、そして「どちらにもとれる」場合がある。男の場合では「時のいたずら」「夜明け」「窓」がそれ。女の場合は「旅立ち」「初恋」「銀の雨」そのほか中性的なものもあるが、この中性の場合もかなりの程度に女性的である全般的に〃あなた〃という言葉が決して「貴男」でも「貴女」でもなく「貴方」になつている点〃中性〃が支配的である。数少ない例外が「窓」と「かざぐるま」で、これには「僕」という単語が入つている。

お父さんたちは、まさかコンサートに出かけないだろうし、また彼はTVにも出ないから実物の彼をもちろん見たことはないだろう外見的には〃胃下垂〃型で実物はかなりヒヨウキンな青年で、ステージの語りでは聴衆を笑わせている。つまり〃面白い男〃なのである。これは生ステージを見なければ判らない。彼がTV出演を拒否する理由を彼のステージを見た人は納得できる。彼は歌だけ三分間余り歌うだけではちつとも面白くないのだ。歌の合い間の語りがあつてこそ、そのトータル性の故に彼の歌はいいのだ。

ステージでは割と北海道弁を駆使して笑わせるが、一転して歌に入ると実に、ためらいもなくロマンチツクなのだ。それは彼の男声としては高い方のテノールである点と、彼の曲の譜をみれば判るが〃サビ〃の部分が、とんでもない高音部で続く点に秘密があろう。

そして何より、彼の歌のロマンチシズムを支えているのは「やさしさ」である。前述の歌詞の立場分析からみると、それは女の優しさなのだ。例えば「さよなら言わずに笑つてみるわ　あなたの旅立ちだもの　泣いたりしない」（旅立ち）「これ以上私がそばに居たなら　貴方がダメになつてしまうのね」（銀の雨）「いつでも貴方に嫌われぬよう　全てを捧げた私だから」（かざぐるま）ーとモロに女の優しさが溢れているのだ。

数少ない〃女の甘え〃の例外は「白い花」ぐらいだ

一方、男の立場の詞の方はてんでだらしがない。例えば、「今日はやけに君が大人に見えるよ　僕の知らない間に…」（時のいたずら）やら「君だけは誰にもわたしたくない」（窓）とエゴイストである。ただ「夜明け」だけに「せめて君の夢がかなうように…」と男の思い遣りがかろうじて現れる

以上を駆け足でひつくるると十代から二十代にかけての若者のあらまほしき生き様を歌うのが松山千春なのだ。世間ではその世代を〃シラケ〃と決め付けようとするが、決して彼らはそうではないのだ。逆に〃やさしさ〃を求めているのであり、そのカリスマが松山千春なのだ。事実「すなおになれたらいいね　昔の君みたいに」（夜明け）と彼らは歌つているのだから。』

千春よ！もっとたくましく

作曲・編曲家の宮川泰氏の「サウンド解剖学」のなかで「千春よ！もつとたくましく」との評論を、二月十五日付でつぎのように発表しました。

『ニユーミユージツクやフオーク系の歌手の声質は、既存の歌謡曲歌手のそれとは少し異つていて、後者のように、変に大衆を意識した節回しや、伝統的こぶしさらに曲の終りの部分でメロディをコードに関係なく何拍ものばして終わるあの非音楽性などほとんど見られない。またリズムの乗り方も、ギターやピアノの弾きうたいが多いためか、しつかりしている。詞の内容も、最近のものはやたらツツパらず、さりとて安下宿のひ弱私小説風でもなく、ホンモノを求める若者の心の成長が感じられる作品が増えてきたことを非常に喜んでいるのだが、松山千春も、そういつた仲間の一人だろう。

彼の最大の特徴、なんといつてもあの声だ。適度の甘さ、うつすら漂う哀愁、チラツと病的な繊細さなどは、甲斐よしひろのしぶとい食いつき！型でも、財津和夫の頼りにしてまつせ兄貴！型でも、オフ・コースの僕だちまじめな大学生！型でもない。強いていえば年上の女にかわいがられ型（これは音楽的意味ですよ…余計分からない？…）の典型。これは〈松山千春をみまもる会〉なる過保護温室？でスクスクと、たくまし過ぎず、優良もやし的に育つてきた結果かしらん…なんとなく無菌状態な彼の歌の世界が、この独得の声の色つやに現われているような気もする。言いかえれば、どうだい！おいらの歌のカツコ良さ、と悪ぶつて叫ぶツイストや、サザン風の不良性が希薄で、あまりにも常備家庭保健薬風で、ある種の物足りなさがないでもない。

時には優しく、時には強く、男の男たるゆえんを歌ににじみ出させることも必要だ。あのさわやかに澄んだ声は私も大変に好きだしこれからも失わぬことをフアンともども願つている一人だが、あえて彼の将来のために、憎まれ口をたたいてみたい。

物足りなさのもう一つの原因は、彼の作詞・作曲にもあるんじやないか？例えば、シングルのヒツト作の一部を譜例

①季節の中で
②窓
③夜明け

で見ていただきたい。この三例、いずそもコード進行が同じなのです。（やはり彼作詞・作曲の「時のいたずら」「ピエロ」も同じ）。一種類のコード進行から何種ものメロディーを作り出す才能はすばらしいが、このままではやがて煮つまつてしまうのではないかしら…。コード進行が同じだと、いかにメロディーがうまく出来ていても、各曲の個性が似たり寄つたりになるのは避けられまいこの欠点も彼の歌唱とアレンジなどでカバーされてはいるのだが…。

時にはギターを離れて音楽全体に、もつと広い視野から取り組む必要があると思う。〃松山音楽〃が今の若さのままで固まつてしまうのではないかと、余計な心配をしていたところ、千春作詞・作曲の最新曲「恋」がイメージ一新、単純ながらなかなかに佳調の曲に仕上がつた。これも大ヒツトだろう。「恋」は十四小節間AからEまでの五度音程の狭さでメロディーが作られ、親しみやすさ、覚えやすさは百点満点。また、コード進行とメロディー、歌詞は見事にこの曲の個性を決定し、、この作品でより広いフアン層の開拓のねらいも当たりだ。

今後は歌唱において清潔純粋さに、もつとギラギラドロドロした男臭さや、たくましさがプラスされれば万歳であろう。新しい千春の世界を期待したい。』

春のコンサートツアー日程

松山千春のコンサート・ツアー「魂、燃やす時」の日程はつぎのとおりで、入場券の取り扱いは、北海道はオフィスパンタ北海道本部（電話〇一一ー二七一ー六九一〇）で本州は日程のカツコ内が取り扱いイベンターです。

三月

（ミユージツクギルド）
24日　平市民会館
25日　石巻市民会館
（ギルドハウス）
27日　八戸公会堂
28日　北上市民会館

四月

3日　富良野市文化会館
4日　北見市民会館
（FOB）
11日　長岡市立劇場
12日　上越市文化会館
14日　高岡市民会館
15日　上田市民会館
21日　埼玉会館
（リボン）
22日　足利市民会館
26日　岩見沢市民会館
27日　留萌市文化センター
29日　稚内市体育会館

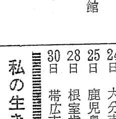
五月

（サンデーフォーク）
4日　桑名市民会館
5日　大垣市民会館
7日　豊橋市勤労福祉会館
8日　刈谷市民会館
（リボン）
13日　八王寺市民会館
14日　木更津市民会館
（サウンドクリエーター）
19日　堺市民会館
20日　明石市民会館
22日　奈良市文化会館
23日　大津市民会館
（BEA）
27日　武雄市民文化会館
（RKB）
29日　唐津市文化会館

六月

（BEA）
1日　鳥取市民会館
2日　福山市民会館
4日　熊本市民会館
5日　長崎市公会堂
（デユーク）
11日　高知県民会館
12日　丸亀市民会館
14日　新居浜市民文化会館
15日　八幡浜市民文化会館
（BEA）
24日　大分市民会館
25日　鹿児島文化センター
28日　根室青少年センター
30日　帯広市民会館

私の生きがい人生



○…コンサートが終わるやいなや、楽屋の入り口に待たせてある車に乗つて千春はスーツとホテルへ直行してしまうのでいいのですがチヨツとヒキヨウなように思われますが、またそうでもしなければ、フアンの群衆心理でどんな事態になるか、十三日の札幌の会場で私も経験させられました。

○…こちらは客席で見ていて終わつてから楽屋へ戻ろうとすると『千春のお父さんだ』といつて握手とサイン攻めにあつて、一々応じていると人垣はふえる一方で仲々楽屋へいけそうもないので、失礼だとは思いながら一応振り切つて前へ進まなければどうしようもない状態。

○…楽屋から出ると裏口にまた行列で車に乗せてくれないので、その場を〃脱出〃するのがひと苦労でした